

(2) 景観まちづくり塾～先進事例視察～

景観まちづくり塾は、市民の皆さんとともに「景観」について学び、関心を持ち、今後の景観まちづくりをどう取り組んでいけばよいのかを考える場として企画しました。

市内の景観まちづくりの事例ではエコシティとはしな、市外では那覇市首里の龍潭通り、浦添市の仲間地区、北中城村の大城地区の視察を行いました。

① 視察先紹介

■ エコシティとはしな(豊見城市)

エコシティとはしなは、環境共生住宅市街地モデル事業の対象地区として、沖縄県住宅供給公社によって開発された全 140 戸の戸建住宅団地です。1995(平成 7)年に分譲開始され、南斜面を活かした宅地割りにより、日照・通風等を確保されています。



ポイント	概要
遠景	エコシティとはしなは、建築協定で、建築物の用途、高さ制限、外壁や屋根の色、敷地境界の外柵の構造などが定められており、この建築協定を定めたことで、まちなみに統一感を与え、遠景でのすばらしい風景をつくりだしています。
まちなか	まちなかでは、屋根や壁の色は緑が映える色調で、地域全体の調和があり、自然豊かなまちなみを創出しています。また、家と道路境界には生垣かフェンスを設けることにより、道路に広がりを与えることができ、まちの開放感を演出しています。

■龍潭通り(那覇市)

龍潭通りは、かつて当蔵大通りと呼称され、御殿、殿内などが立ち並んでいました。現在でも首里の観光・商業の核であり、首里城城下のメインストリートとなっています。



ポイント	概要
まちなか	龍潭通り地区は、平成 11 年ころから始まった道路拡幅事業をきっかけに、道路と沿道が一体となったまちなみづくりに取り組んできました。平成 14 年に、都市景観形成地域(那覇市景観計画)※重点地区に指定し、建物の色彩や屋根、高さ等に基準を設けるとともに、公共施設もふさわしい景観づくりをし、まち全体に「首里らしさ」の統一感をもたせる景観形成が図られています。また、那覇市から赤瓦や石垣の整備に対し補助制度があります。
龍潭周辺の公共事業	道路事業では、無電柱化のほか、歩道・車道に琉球石灰岩を活かしたデザイン採用、世持橋ポケットパークの整備などが行われています。文化財事業では、中城御殿復元や世持橋の高欄(文化財)の復元整備などが行われています。その他まちづくり事業(歴史的環境にマッチしたサイン施設の整備)のほか、通り会や建築士会、FM ラジオ局などが一緒になり、さまざまな事業が行われています。
ヤマトガー	県では、県内の重点地区に対し、地元住民の風景づくり活動を支援しています。龍潭通り沿線地区都市景観形地区龍潭内にあるヤマトガーは、この事業により修景が行われました。ヤマトガーは、かつて地域コミュニティの大事な場所でした。しかし、時代が進むにつれて徐々に活用されていない状況であったことから、地域の住民と NPO が協力し水と潤いのある風景が再生されました。

■仲間地区(浦添市)



ポイント	概要
住民によるまちづくりの経緯	景観法が施行前の平成 13 年ころから、住民参加型の「仲間まちづくり塾」等の取り組みにより、地域住民の総意を得た「仲間地区まちづくりの精神」と「仲間地区の将来像」が作りあげられ、平成 20 年に、景観まちづくり仲間重点地区(浦添市景観まちづくり計画)に指定され、建物の色彩や屋根、高さ等に基準を設け、まち全体に統一感をもたせる景観形成が図られています。また、浦添市から赤瓦や石垣の整備に対し補助制度があります。
地区内の要所の整備	仲間地区では、仲間樋川の復元整備や周辺の緑化に対して行政が支援し、住民協働で浦添グスク周辺の美しい景観をつくりあげています。また、NPO の歴史ガイドによるウォークラリーなどの活動への助成も行っており、地域資源の存在を市民や来訪者に対してアピールし利活用につなげています。

■大城集落(北中城村)



ポイント	概要
大城花咲翁会発足	北中城村は、中城城跡の周辺にある大城・荻道地区を対象に「古城周辺歴史的景観整備事業」を平成6年から 10 年間にわたって実施していました。この事業をきっかけに、大城周辺では景観資源を活かしたまちづくりを目的とし、平成 11 年に地域住民の 55 歳以上の男性で結成された「大城花咲翁会」が誕生しました。
景観活動によるコミュニティ形成	<p>主な活動内容は、空地への花の植え付けや歩道の植栽柵や花壇の手入れ、雑草の草刈りなどの美化活動を行い、まちを花と緑に囲まれた美しい景観をつくりあげています。このような活動が活発になり、交流の輪が広がり地域のコミュニティが形成され、地区内部での連携が図られていくようになりました。</p> <p>また、昔のモーアシビを現代に再現しようというテーマに「ムーンライトコンサート」が開催され、村内外から多くの方が訪れます。集落全体を美術館と見立てた「スージグラー美術館」も開催され、芸術家の作品や沖縄県立芸術大学から寄贈された彫刻作品など多数作品が開催時期には飾られます。開催時期以外でもメインストリートや公民館などに過去に展示された作品の一部が展示されています。</p>

②自治会長対象バスツアー

日時：平成26年8月2日（土）9：30～13：30

参加者：17名

■プログラム

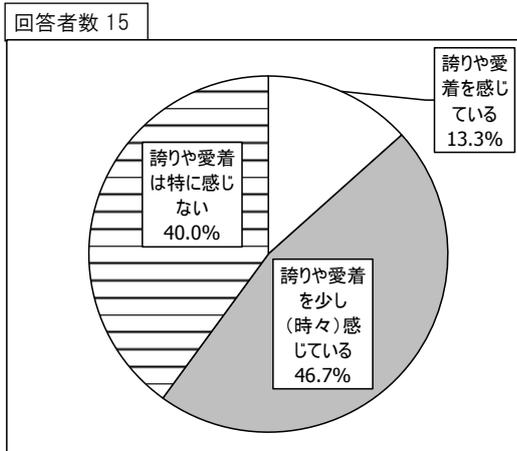
9:00	豊見城市役所集合、説明
9:05	事例視察スタート
	①エコシティとはしな(豊見城市)
	②首里龍潭通り(那覇市)
	③仲間地区(浦添市)
	④大城集落(北中城村)
12:30	大城公民館にて振り返り、食事
13:30	豊見城市役所到着、終了

■事例視察の様子

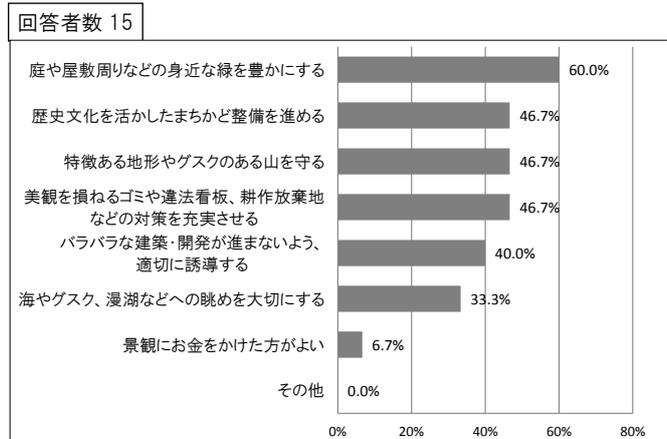


■参加者アンケート結果

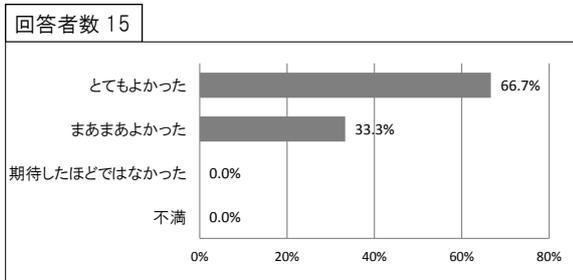
問 1.豊見城市の景観についてどう感じますか。



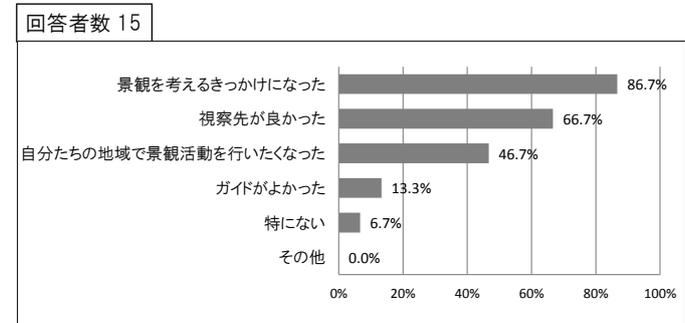
問 2.今後、豊見城市ではどのような景観づくりが必要と感じますか。(3つまで選択)



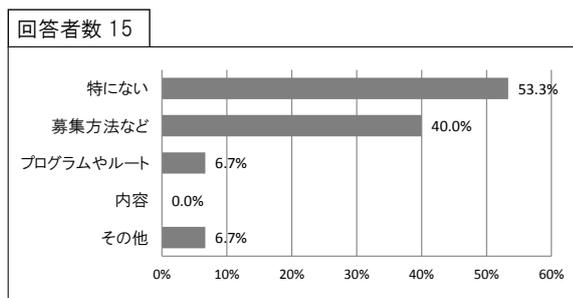
問 3.今回のまちづくり塾に参加していかがでしたか。



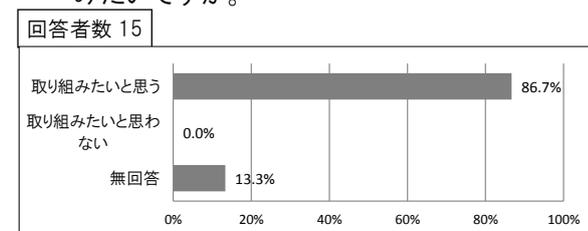
問 4.今日の事例視察で良かったところや気づいたところを教えてください。(複数回答)



問 5.今日の講座で改善した方がいいところを教えてください。(複数回答)



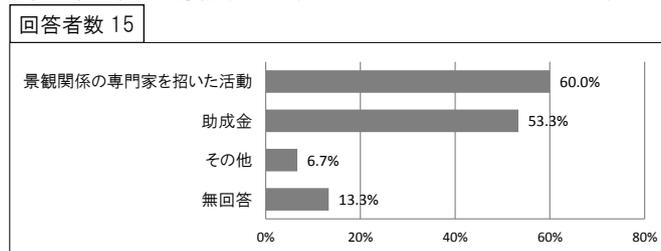
問 6.今回視察を行った龍潭通りのヤマトガーや仲間地区の緑化のようなまちかど修景の事業があったらとくみいただけますか。



〈その他内訳〉

ガイドの説明で専門用語をできるだけ少なくする

問 7.取り組む場合、市に要望したいことはありますか。



〈その他内訳〉

地域資源の掘り起し

問 8.あなたの地域でも取り組んでいること、やりたいことを教えてください。

- ◆文化財の保護や伝統行事の継承に取り組んでいるが、復元すべき文化財もあるので、それをやりたい。
- ◆集会所周辺の景観をもっとよくしたい
- ◆一戸建ての建物での集落でできた地域で周辺の道路は整備されているが、緑地帯が少ない。これからできることは、鉢花などを置くなどして環境整備をしていく必要があると考えている。
- ◆緑を増やし、散歩道等をつくりたい。
- ◆自治会としては特に取り組んでいないが、個々に自分の庭に花を植えたい。
- ◆生活道路の整備と緑化。人にやさしい道路のあり方。

問 9.今後の景観まちづくりについて、ご自由なご意見をお聞かせください。

- ◆市を中心に取り組みが必要。
- ◆コンクリート化が進んでいることや防災上の観点からも市内で数か所自然公園をつくってほしい。
- ◆豊見城市は古い集落と新型住宅地域が混在しているので、ゾーン分けした計画が必要である。
- ◆視察を終えて、地域住民が一体となって地域づくりに取り組んでいる。また、自らの地域について説明できる指導者がいることが頼もしかった。地域にはこのような指導者がこれからは欠かせないと考えています。本日の視察はとても参考になりました。
- ◆公道、市道に花木を増やし、管理をきちんとしてほしい。
- ◆景観まちづくりについての住民の意識を高める必要がある。
- ◆景観まちづくりは10年単位の長期スパンで取り組むことが課題であり、その間の地域住民の理解並びに行政との関わりをどう築いていくかの早急な方向性を市として示していくべきである。
- ◆地域住民としては、まず身近なところから景観づくりを意識した活動をしていきたい。
- ◆それぞれの自治会の特性、地域の特性を活かした景観づくり。あるいは子供や老人を主体としたまちづくり・景観づくり。

③市民対象バスツアー

日時：平成27年1月24日（土）9：00～13：00

参加者：40名

■プログラム

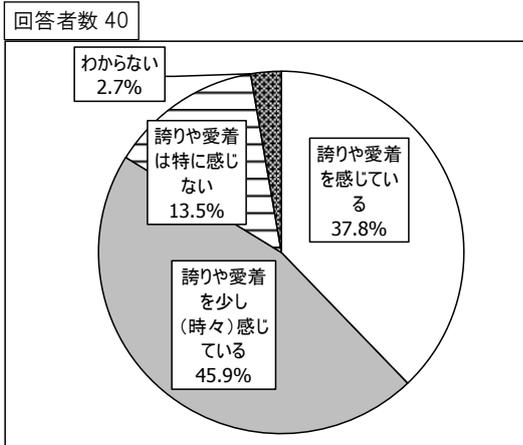
9:00	バス出発
	・エコシティとはしな(車窓にて)
	・那覇市 龍潭通り
	・浦添市 仲間地区
	・北中城村 大城集落
13:00	終了

■まちあるきの様子

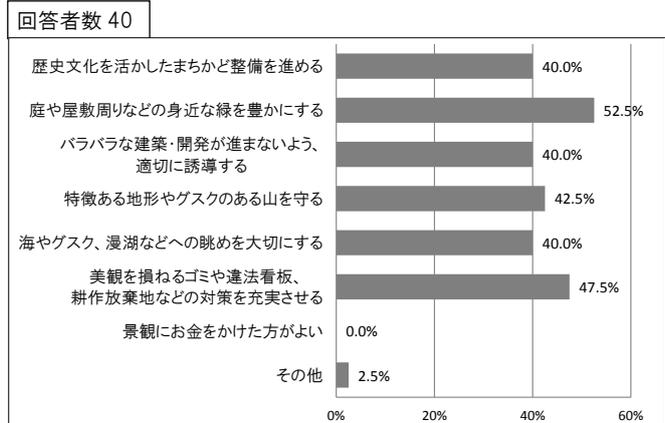


■参加者アンケート結果

問 1. 豊見城市の景観についてどう感じますか。



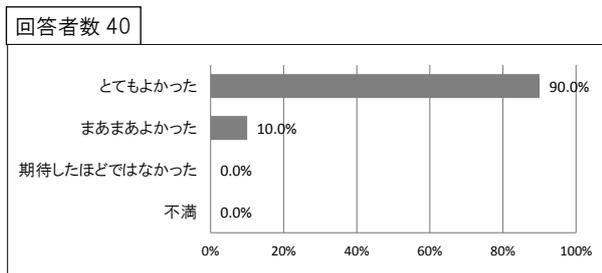
問 2. 今後、豊見城市ではどのような景観づくりが必要と感じますか。(3つまで選択)



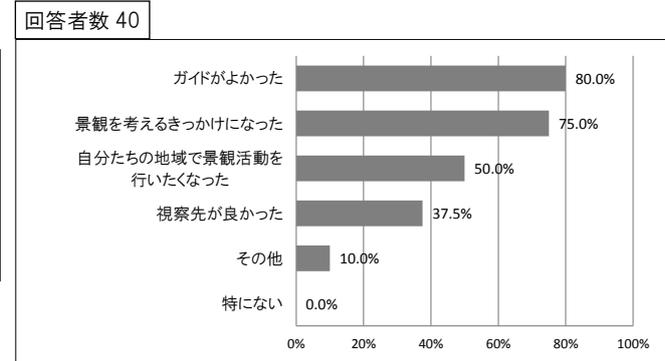
〈その他内訳〉

緑を豊かにする、歴史文化を活かすなどは地域性(集落性)に合わせていくことが大切だと感じます/市内でごみが目立つが、拾うと帰ることになるため拾わない。市でゴミ袋(有料のものではない)を各家庭に配布しては/まちなかに水場(水路)が欲しい

問 3. 今回のまちづくり塾(字翁長まちあるき)に参加していかがでしたか。



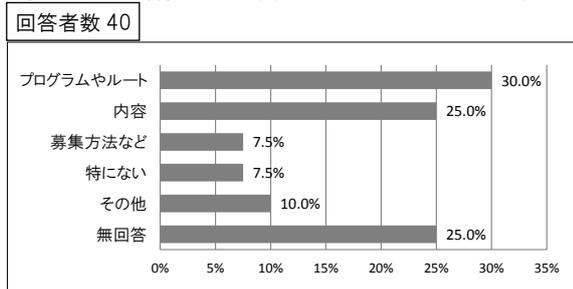
問 4. 今日の講座で良かったところや気づいたところを教えてください。(複数回答)



〈その他内訳〉

植物の植え方などが参考になった/花咲翁の取り組みは良かった。生き生きとしている/仲間の案内板はわかりやすく、順路を追って歩きたくなる/緑あふれる村、ほんとに素敵だった。空気もほんとに爽やかで美味しかった/緑を大切にしたいまちづくり、憩えるまちづくりに癒された/豊見城市はこれからですので、もっと近代的なところもあってよいと思います/ガイドがないとただ見るだけになってしまう

問 5. 今日の講座で改善した方がいいところを教えてください。(複数回答)



〈その他内訳〉

各字ごとの募集もよいと思う。お互い共通するところを話しながら、景観をつくることのできる/首里をもう少し散歩(石畳など)や視察したかった/主人に誘われるまで知らなかった。どちらで募集されていたんでしょうか/案内の時、資料(地図)の説明を入れたらどうか

問 6.今後のまちづくり塾について、ご自由なご意見をお聞かせください。

- ◆まずは市から各家庭へ花とか苗などを配り、育て方等の講座などをやって欲しい。
- ◆瀬長島の開発工事？やりすぎ。
- ◆昔の面影がなくなった。
- ◆自然を大事にしたい。
- ◆新しい豊崎地区等は近代的に。
- ◆未来に生きづく街づくりができたならなと思いました。
- ◆瀬長島の開発が進んでいるようですが、楽しみにしています。
- ◆県道 68 号線、街なみづくり、市は頑張ってくださいです。国建さんヨロシクお願い致します。
- ◆道路の草が目につく(豊見城)。
- ◆道路をもっときれいにした方が良いと思いました。
- ◆住宅地にグリーンが多くあった方が良い。
- ◆子供が遊べる広場も多くした方が良い。そこに人工的な遊具は少なくして、グリーンの広場が良い。
- ◆浦添の車道と歩道の段差をなくした考えはとても良かった。また、アスファルトの色を白にする案も良い。初めて知った事なので、参考になった。ありがとうございました。
- ◆浦添中学校の校門の「花いっぱい」が見事でした。子供達の学校教育の現場で美化活動に力を入れてもらって、景観まち作りに貢献してくれると良いと思う。
- ◆道幅を広くして欲しい。
- ◆道路の整備。
- ◆初めて知った事もあり(とはしな)、それをきっかけに景観や地域の成り立ち、残しておきたいものなど、意識するようになると思う。
- ◆今回の計画以外にも基本計画(県も含む)があると思いますので、他の計画と連動するような景観計画を策定してもらえたらと思います。
- ◆昔からある場所を活かしながら、現代風に綺麗になっているのは、良いなと感じました。今後のまちづくりの流れになると思います。
- ◆区長の話聞いて感じた事は、行政と住民が協力してまちづくりをやらないと成功しないという事です。
- ◆市にはまだ越してきて1年の為、誇りや愛着は特に感じていないが、住んでいる豊崎には少し愛着があります。
- ◆歩道の整備をお願いします(上田↔渡橋名団地)。段差があり、歩くのも危険。新しい道路は緑を配置してきちんと歩道作りをぜひやって欲しい。
- ◆ほんとに緑の少ない街をどうするか考えよう。
- ◆豊崎地区は飛行機から見える場所なので、意識して沖縄カラーの景観に取り組んで欲しいと思います。
- ◆字翁長地区の上部落には、古い家並みがまだ残っているので、保存しながら新しい町並み作りをして欲しいなあ。
- ◆近くに公園があるのですが、木陰をつくる樹木が少なく、高齢者が憩えないので整備して欲しいです。
- ◆憩える場やゆっくり散歩できる場所が欲しい。木陰のあるところなど。
- ◆目につく所に案内板を設置すると気が付き興味を持つようになる。そうじゃないと素通りしてしまう。
- ◆小学生を巻き込んだ活動が良いと思う。子供の目線、視点も取り入れながら。
- ◆今日まわった大城、仲間地域の素晴らしいモデルに近づくような景観づくりを行っていければと思う。
- ◆思い切った予算でなければ、動かないと思う。初年度(27 年位から?)に大きな計画、実行がなければ成功(目に見える)はないと思います。
- ◆綺麗な街は皆好きですよ。
- ◆豊見城市も取り組んでもらいたい。今日は大変良かった。ありがとうございました。また、企画して欲しいです。
- ◆豊見城市には公民館はありますが、首里のアルテ赤田ギャラリーホールのような小劇場を作り、市民に歌や踊り(素晴らしいピアニスト、シンガー等を招待する)等楽しむ場所があると良いかな。
- ◆景観は作っていく部分、自然の部分双方あるのかなと感じる。
- ◆日頃見慣れた風景でも、ガイドの話を伺って改めて景観の良さを知る。景観の良い所は気持ちが安らぐ。そこに行ってみたいというのが人情だと思う。
- ◆一人ひとりの意識がとても大切だと再認識しました。ありがとうございました。